



就職内定の通知をたくさんいただきました。社会人としてのスタートが決まった人はどのような志を立てましたか。

## 内定に号泣！



クウェートの国章

全国工業高等学校長協会の研究協議会が盛岡で開催されました。その中で、三陸鉄道株式会社の社長さんが「光り輝く三陸を目指して～「さんてつ」でつながる・みんなの未来～」と題して講演されました。三陸鉄道は東日本大震災で大きな打撃を受け、3年の月日と90億円の経費をかけて全線運行再開を成し遂げました。

鉄道が廃止されて栄えた町はないとして、復興に努力した様子はプロジェクトXでも放送されました。地域の人々の生活を守るために動いた人たちの姿は周囲の人々を勇気づけます。海外からも支援がありました。クウェートから原油500万バレルが提供され、日本の石油会社がこれを受入れて代金相当額の400億円を日本赤十字社に寄付。このうちの20億円が三陸鉄道に支給され、車両の製造や駅の再建に利用されました。この支援に対する感謝の気持ちを示すため、三陸鉄道ではクウェートの国章をつけた列車を運行しています。また、震災学習列車を運行し、自然災害への備えを考える震災伝承を行っています。



クウェートの国章をつけた車両

講演の最後に社長さんが工業高校生に期待することを示されました。

- ・ものづくりの楽しさを学んでほしい。
- ・ものづくりの基礎を身につけ、誇りをもってほしい。
- ・実務経験や職場経験を積み、自分に合った地元の企業に就職してほしい。

講演終了後に東北のある工業高校の校長先生が次のような報告をされました。  
「本校の生徒が今年三陸鉄道から内定をいただいた。内定通知を受けた生徒は職員室で号泣した。『人の役に立てることができて嬉しい』と言って。」

買い物をする人たちの会話にも「支援のために〇〇産のものを買おう」という声が聞こえてきます。辛い体験をしたからこそ自分事として考え、共助の精神が広く行き渡っていると感じました。人は考えることができます。自分が直接体験したことでも自分事として捉える力があります。

今年内定通知を受け取った皆さんはどのような志を立てましたか。どの仕事にも必要とする人がいるから成り立っています。それぞれの勤務先で必ず誰かを幸せにすることができます。これから就職先を決める1年生、2年生、そして進学する3年生のみなさん、東北の工業高校生のように内定通知を受けて泣けるほどの仕事を見つけてください。

校長 松川 明義

【行事予定】

22日(水)：性に関する指導LHR（3年）

28日(火)～30日(木)：インターンシップ（2年）



週末の大会 弓道部、ボート部、陸上部、ソフトテニス部、卓球部

米工HP